

保健連絡協議会だより

B型・C型肝炎の治療費助成制度 をご利用ください

肝がんの原因の約9割がB型・C型肝炎ウイルスによる肝炎ですが、適切に肝炎治療を受けることで肝がんを予防することができます。

この肝炎治療のための治療費助成を受けることができます(平成26年度まで)。佐賀県は肝がん死亡率が高い県であり、多くの方が助成制度により肝炎治療を受けています。助成制度を利用して肝炎治療を始めてみませんか。

●対象 次の①～③全てに該当する人

- ①健康保険に加入している県内在住者
- ②B型、C型肝炎ウイルスの根治を目的としたインターフェロン治療、またはB型肝炎の人は核酸アナログ製剤治療(平成22年度から新たに対象となりました)を希望する人
- ③申請後に認定協議会で認定された人

●治療を受ける医療機関 県指定医療機関

(佐賀県ホームページをご覧ください。杵藤保健福祉事務所で確認できます)

●助成内容 一月当たり8万円程度が必要となる治療費の自己負担限度額が、原則10,000円になります。(ただし、世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額の合計額が235,000円以上の方は、自己負担限度額が20,000円になります)

●助成期間 申請書類を提出した月の初日から1年間(延長等が可能な場合があります)

●申請方法 まずは、杵藤保健福祉事務所に相談してください。また、申請の時期や治療内容等については、主治医によくご相談ください。

問 杵藤保健福祉事務所 健康指導担当

☎ (22)2104

佐賀県ホームページ

<http://www.pref.saga.lg.jp/web/kanentaisaku.html>

担当:森田



がん検診のススメ

「がん」で命を落とさないために⑥

中川恵一監修／がん検診企業
アクション事務局発行
「がん検診のススメ」より

子宮頸がんは、ワクチンによる
予防と20歳からのがん検診

がん検診がとくに有効なのは、子宮頸がん、乳がん、大腸がんです。がん検診は「女性向き」とも言えるでしょう。

子宮頸がんでは、子宮頸部の細胞をこするだけの簡単な検査ですが、20歳から2年に1回受けてください。乳がんも、40歳以上で2年に1回、マンモグラフィなどによる検診を受けましょう。

大腸がんは40歳以上で毎年1回便をとるだけです。その他、肺がんも胃がんも40歳以上で、年に1回受けてください。検診と生活習慣の改善で、がんを落とす確率は大幅に減ります。

また、子宮頸がんはウイルス(ヒトパピローマウイルス)感染が主因で、20～30代に急増しています。そして、このヒトパピローマウイルスに対するワクチンも開発されています。ただし、このワクチンでも、子宮頸がんの6～7割しか予防はできません。子宮頸がん検診はぜひに必要です。

問 ぐらし部

がん検診率向上課

☎ (23)91331